

学校教育目標 心身ともに健康で、豊かな人間性を持つ生徒の育成



わたうち

令和5年9月1日
No.7
太田市立綿打中学校



〔令和5年度 学校スローガン〕
生徒が主役！ 誰一人取り残さず 感動と笑顔が輝く 活力あふれる綿打中学校

充実した学びと活動のシーズンに！

42日間の長い夏休みが終わりました。2学期は勉強や運動、文化的な活動等、充実した学びと活動のシーズンです。保護者の皆様には、学校公開の他にも体育祭や秋戯祭、部活の新人戦など、生徒たちの様子をご覧いただける機会が数多くあります。これらの機会には学校へ足を運んでいただき、生徒たちを励ましていただければと思います。

本日の始業式では、生徒たちに以下の話をしました。2学期につきましても、保護者、地域の皆様には引き続き綿打中学校における教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

【2学期始業式における学校長の話(一部抜粋)】

暦の上では、すでに「秋」です。秋と言えば、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、勉学の秋、食欲の秋など様々な言葉があります。中学校生活を一番充実させることができるのもこの2学期です。

そこで、2学期に皆さんにお願いしたいことがあります。それは、「生徒主体の秋」をキーワードに頑張ってほしいということです。つまり、令和5年度の生徒会理念である「生徒主体の学校づくり」。これを徹底してください。皆さんは日々、様々な勉強をして知識などを身に付けていますが、将来、社会に出て生きていく上で大切なこと。それは、学んだことを生かして、自分から主体的に行動していくことです。

そのために、学校生活の中では皆さんが主体的に行動できる場面がたくさんあります。まずは勉強。授業中、先生の話を一方的に受け身で聞いているだけでなく、自分で課題意識を持ち解決していくなど主体的に学ぶ方法はたくさんあります。その他にも掃除や係、委員会などの仕事。挨拶や返事などの行動面。部活動など生徒主体の活動というのは様々な場面で考えられます。また、2学期は体育祭や秋戯祭などの行事もあります。これらの行事の中でも、どうすればよりよい綿打中学校になるかを考え、主体的に行動してほしいと思います。

特に体育祭や秋戯祭などの行事については、主体的に取り組んでいくことができれば自分たちの力でやり遂げたという達成感などが得られるのではないかと思います。しかし、生徒主体ということは、例年以上に失敗したり苦労したりする場面も多くなるかもしれません。それでも一生懸命やって失敗をしたなら、それはそれでよい経験になるはずです。むしろ、失敗から学ぶという姿勢を大切にしてください。また、綿打中学校には205名の生徒がいます。当然、一人一人の考え方や感じ方は違います。ですから、生徒主体を徹底していくと皆さんの中で意見の対立が起こることもあると思います。しかし、そこで折り合いをつけながら対立を乗り越える。これも大切な勉強です。是非、そういったことも自覚し、失敗を恐れずに、様々な事に積極的に「チャレンジ」し、意見の対立を乗り越えながら「生徒主体の秋」を過ごしてください。

また、主体的に行動すると言っても、学校生活の中では「やりたいこと」と「やらなければならないこと」というものもあります。是非、「自分たちは何をやりたいのか」と「自分たちは何をやらなければならないのか」の両方を考え、どちらも主体的に行動できるようにしてください。

2学期の終わりに、「生徒主体の秋を満喫することができた」。そう胸を張って言えるよう、頑張ってください。皆さんの活躍を楽しみにしています。

県総合体育大会及び東部地区吹奏楽コンクールについて

7月24日から群馬県総合体育大会が行われていました。綿打中学校からはソフトテニス男子団体、ソフトテニス個人（男子2ペア、女子1ペア）、陸上走幅跳が太田市の代表として出場しました。

陸上走幅跳では〇〇〇〇さんが5位入賞。ソフトテニス男子団体はベスト8。また、東部地区吹奏楽コンクールは銀賞という素晴らしい結果でした。

選手や出演者の皆さん、暑い中たいへんお疲れ様でした。



駅伝の練習が行われています

7月31日より駅伝の練習が行われています。夏休み期間中の駅伝練習は、10月に行われる市の駅伝大会への出場を目指す生徒だけではなく、体力を高めることや夏休み中の健全な生活習慣をつけることを目的にしている希望者も参加し、お盆期間中を除く17日間、練習を行いました。

暑い中での練習でしたが、毎日、地道に続けることで、少しずつ走りに力強さがみられるようになっていました。



令和6年度群馬県公立高等学校入学者選抜方法等の公表について

群馬県の公立高校入試については、令和6年度から選抜方法等が変わります。大きな変更点としては、これまで前期選抜と後期選抜の2回実施されていたものが、令和6年度入学者選抜から、1回の検査で特色型と総合型の2つの観点による段階選抜を行い、生徒の優れた点をより積極的に評価する形になります。

3年生については学年より案内がありますが、1，2年生の生徒や保護者の皆さんにとっても、気になる内容かと思えます。

特に8月1日に県教育委員会より公表された「令和6年度群馬県公立高等学校入学者選抜各高等学校の「選抜方法等」」には、各高校別に「志願してほしい生徒像」や「選抜方法」が記載されております。これらに目を通すと、1，2年生から何をすべきかということも分かるのではないかと思います。

以下の2点は、群馬県教育委員会のホームページで見ることができますので、一度ご覧になり、親子で中学校卒業後の進路について話し合ってみることをお勧めします。

【参考となる資料名等】

○令和6年度群馬県公立高等学校入学者選抜各高等学校の「選抜方法等」

○別紙【保護者向けリーフレット】

URL:<https://www.pref.gunma.jp/site/kyouiku/213844.html>

